

JALの飛行機で
友好都市・大田区へ
行ってきました!

ほんもの講座 「JAL工場見学&大田区友好訪問」

ほんもの講座「JAL工場見学&大田区友好訪問」が10月17日、18日の日程で開催され、町内児童とその保護者の皆さん8組16名が参加しました。今回は、池上本門寺や大森海苔のふるさと館などをはじめとした大田区を代表するスポットのほか、本町と連携協力協定を締結しているJALの整備場などを見学。

参加者の皆さんは1泊2日の日程でどんなことを体験し、どんなことを感じたのでしょうか。子どもたちの感想文を紹介します。

初めての体験の数々

千畑小学校 5年 千馬 翔

僕が1日目で一番楽しかったのは蒲田駅前での美郷町PR体験です。僕は、宏太郎さんと「やましな」の試食を手伝いました。試食をしてくれた方で10人に1人は買ってくれたので嬉しかったです。午後からは、池上本門寺で加藤清正が作ったといわれている仁王門前までの石段や、五重の塔などを見てきました。五重の塔の一番下の屋根の内側に獏がついていることを聞きました。獏が鉄を食べるということを聞いて、意味をもってつけられたことを知りました。

2日目はJALの工場見学に行きました。飛行機を整備するときの道具や整備の仕組みについて聞くことができ勉強になりました。展示物もタイヤの構造やエンジンの仕組み、コックピットなど初めて見るものばかりでとても心に残りました。国際線の出発カウンターでは、荷物を運ぶ手続きに5分もかからないことに驚きました。

このイベントに参加して、色々なことを知ることができてとても勉強になりました。将来の為にも良い経験ができたので機会があればまた参加して、自分の知らないことを見て、聞いて知識を広げていきたいと思います。

ほんもの講座で心に残ったこと

六郷小学校 4年 畠山 愛梨

私がほんもの講座に行きたいと思った理由は、大田区に行ったことがなかったし、飛行機に乗りたかったし、美郷町の他の地域の人とも仲良くなりたかったからです。

私が心に残ったことは、三つあります。

一つ目は、美郷町PR体験です。蒲田駅前でもりんごジュースの試飲をすすめたり、とんぼの飾りを通る人に配りました。どこから来たのかとか、何年生なのかと聞かれて答えました。知らない人と話せたり、美郷町のことを知ってもらえたのでよかったです。

二つ目は、JALの飛行機に関わる仕事を体験できたことです。国際線のカウンターでチケットを発券させてもらったり、トランシーバーで話したりしました。飛行機の重さが測れるなんてびっくりしました。キャビンアテンダントの制服も着られてよかったです。

三つ目は、みんなと仲良くできたことです。仙南小や千畑小の人たち、学年の違う人たちとも話したり遊んだりして仲良くできてよかったです。

ためになった二日間でした。もう一度行ってみたいです。

日程2日目



■ JAL工場見学～SKY MUSEUM～



■ JAL国際線カウンター

美郷町の観光や特産品をPR
友好都市・
東京都大田区イベント

ご来場ありがとうございました!

友好都市ふれあいひろば

JR蒲田駅西口広場(10月17日~18日)



おおた商い観光展

大田区産業プラザPiO(10月17日~18日)



OTAふれあいフェスタ

ポートレース平和島ほか(11月7日~8日)



日程1日目



■池上本門寺



■美郷町PR体験(友好都市ふれあいひろば)



■大田区立郷土博物館



■大森海苔のふるさと館

飛行機に乗って空の旅

仙南小学校 4年 伊藤 天万

飛行機に乗るのは初めてだったので、秋田空港に着いてからは少し不安でした。飛行機が助走をつけているときになかなか起き上がらなくて、いつ飛ぶのだろうとドキドキしました。飛行機が上昇してからは色々な景色が見えました。富士山や雲海が見えて、富士山の周りの山は赤くなっていました。これからどんな景色が見えるだろうとワクワクしました。羽田空港を出てからは蒲田駅前でいぶりがっこの販売を手伝いました。最初はどうすればいいかわからなくて崇照さんのやり方を見習いました。それからいぶりがっこがどんどん売れてうれしかったです。郷土博物館の見学で特に気になったのが貝塚です。今の土からなぜ昔の貝がでてくるのか不思議に思いました。

次の日は、JALの工場見学で飛行機の作り方を聞いたり、コックピットに座ったりしました。コックピットにはたくさんのボタンやレバーがありました。飛行機が着陸するときに白い煙が出ていたので、すごい速度を出しているんだなと思いました。飛行機を見に行ったときには、重さを測っていました。どうやって飛行機の重さを測っているんだろうと思いました。とても楽しかったです。

JAL美郷
連携
プロジェクト

客室乗務員によるマナー教室

11月13日に役場庁舎で「客室乗務員(CA)によるマナー教室」が開かれ、町内企業や商工会、観光協会、町職員など約50名が参加しました。この教室は、JALが提供する「お客様への最高のサービス」を直接学び、接客の考え方や手法のスキルアップを図ることを目的に行われました。

講師を務めたのは、大館市出身で日本航空客室乗務員の清水蘭子さん。参加者の皆さんは熱心にメモを取りながら、表情、視線、立ち振る舞いなどの大切さについて学んでいました。

